

## 2020/2021 年度 第 5 回全国委員会 議事要録

日時: 2021 年 6 月 13 日(日)-21 日(月)

会場: メール(フォーム)

出席者:[敬称略]

得能 由貴(北海道地域グループ), 加藤 晃一(千葉地域グループ), 下山 朋幸(東京地域グループ), 中川 恵理子(東海地域グループ), 安東 正弦(京都地域グループ), 吉田 弥生(大阪地域グループ), 井上 昌彦(兵庫地域グループ), 楯 幸子(広島地域グループ), 柿原 友紀(九州地域グループ), 田辺 浩介(学術基盤整備研究グループ), 中島 慶子(地域文化研究グループ)[以上, グループ推薦全国委員],

香海 沙織, 赤澤 久弥, 磯本 善男, 北川 正路, 小山 荘太郎, 西脇 亜由子, 和知 剛, 上村 順一(記録)[以上, 常任委員],

澤木 恵, 柘植 久美子, 渡邊 伸彦[以上, 常任(特定)委員]

配付資料:

### 1) 審議事項

1. 全国大会タイムテーブルの修正について
2. 全国大会会計業務における電子印鑑の使用について
3. 全国大会実行委員の進捗管理ツール backlog の使用について
4. 大学図書館研究会出版物に関する著作権規程(案)

### 2) 報告事項

1. 全国大会企業協賛の依頼文案について
2. 大学図書館問題研究会第 52 回大図研全国大会(オンライン)スケジュール(2021 年 3 月~9 月)修正案 2021 年 5 月 28 日現在
3. 大学図書館研究会出版物におけるエンバーゴ期間について(お知らせ)(案)
4. 大学図書館研究会出版物掲載記事の著者による電子的公開(セルフアーカイビング)について(お知らせ)(案)
5. 会報デジタル化後の執筆謝礼の変更

議事要旨:

議事に先立ち, 出席確認を行い, グループ推薦全国委員及び常任委員全 20 名のうち 18 名が出席した。

大学図書館問題研究会会則第 8 条により, 委員の過半数の出席となったので, 本全国委員会は成立することを確認した。

また, 特定常任委員 3 名も出席し, 投票数としては 20 票(委員長は除外, 特定常任委員を追加)となることを確認した。

### 1. 審議事項

#### 1.1. 全国大会小委員会 (担当: 磯本)

##### 1.1.1. 全国大会タイムテーブルの修正

[審議資料 1]

2020/2021 年度第 4 回全国委員会で, 審議, 了承をいただいた第 52 回全国大会のタイムスケジュールの修正案を審議した。再度全国大会実行委員で検討を行ったところ, 一部変更を要する箇所があったためである。

審議結果は以下のとおりであった。よって、本議案は承認された。

- 承認する: 20
- 条件付きで承認する: 0
- 承認しない: 0

### 1.1.2. 全国大会における電子印鑑の使用

[審議資料 2]

大図研の名称変更に伴い、全国大会の会計業務に使用する印鑑を新たに発注する必要がある。会計書類の電子的発行のため、印鑑の発注に際し、電子印鑑を併せて発注することの可否を審議した。

印鑑は今大会以降も恒常的に使用するものであるため、今回の全国大会会計ではなく、一般財政から支出することも合わせて審議した。

審議結果は以下のとおりであった。よって、本議案は承認された。

- 承認する: 20
- 条件付きで承認する: 0
- 承認しない: 0

### 1.1.3. 全国大会実行委員の進捗管理ツール backlog の使用

[審議資料 3]

全国大会実行委員の情報共有・進捗管理のツールとして backlog を使用したく、人数や機能の面から、有料プランとすることを審議した。

なお予算は、全国大会会計の、大会予備費から支出することも合わせて審議した。

審議結果は以下のとおりであった。よって、本議案は承認された。

- 承認する: 18
- 条件付きで承認する: 2
- 承認しない: 0

「条件」については以下のとおりである。いずれも貴重なご意見として常任委員会等で引き続き検討する。

- ◆ backlog の継続性については、導入後も引き続き検討ということになるでしょうか。業務引継がスムーズにいく形で進めていただければよいのではないかと思います。
- ◆ 有料プランだと複数プロジェクトを設定できたかと思います。ので、開催年ごとにプロジェクトを分けて、実行委員会が動いていない時期もスペースを維持すれば次年度以降への引継ぎにも役立つのでは、と資料を改めて読んで思いました。費用は全国の会計で負担してもよさそうな気もしつつ、大会会計に含めない合理的な理由の説明がうまく出てきません…。

## 1.2. 会誌編集小委員会（担当: 和知）

### 1.2.1. 大学図書館研究会出版物に関する著作権規程

[審議資料 4]

大図研の出版物は 2021 年 1 月より、会員に対してデジタル頒布されることとなった。

出版物の電子化に伴い、従前の「大学図書館研究会出版物掲載記事の著作権規程」に定められていない条項を新たに定めなければならなくなり、従前の規程に代わる、大図研出版物に関する包括的な著作権規程が必要となった。

そのため、従前の著作権規程を廃止し、新たに「大学図書館研究会出版物に関する著作権規程」の制定について審議した。合わせて、この規程では、

- ① 電子化に伴う諸規程の整備
  - ② 会員・非会員への執筆謝礼の有無の明示
  - ③ 著作権規程承諾書の規程の整備
- などに関わる規程を新たに定めたことを審議した。

審議結果は以下のとおりであった。よって、本議案は承認された。

- 承認する: 20
- 条件付きで承認する: 0
- 承認しない: 0

## 2. 報告事項

### 2.1. 全国大会小委員会（担当: 磯本）

#### 2.1.1. 全国大会企業協賛の依頼文案

[報告資料 1]

2020/2021 年度第 4 回全国委員会で、審議、了承をいただいた企業協賛について検討中であることを報告した。

結果は以下のとおりであった。よって、本議案は承認された。

- 承認する: 20
- 条件付きで承認する: 0
- 承認しない: 0

#### 2.1.2. 全国大会準備スケジュールの修正

[報告資料 2]

2020/2021 年度第 4 回全国委員会で、報告していた第 52 回大会の準備スケジュールについて、一部遅延が発生しているので、修正した。

参加費の集金方法として、従来の郵便振替口座に加えて、Peatix(<https://peatix.com/>)等を使用しての集金も検討中であることを報告した。なお、Peatix は 6 月 5 日開催の大図研オープンカレッジ(DOC)で利用実績がある。

審議結果は以下のとおりであった。よって、本議案は承認された。

- 承認する: 20
- 条件付きで承認する: 0
- 承認しない: 0

### 2.2. 会誌編集小委員会（担当: 和知）

#### 2.2.1. 「大学図書館研究会出版物に関する著作権規程」に係る補足規程の公開

[報告資料 3-4]

「大学図書館研究会出版物に関する著作権規程」を補足するものとして、

- ① 大学図書館研究会出版物におけるエンバーゴ期間について(お知らせ)
- ② 大学図書館研究会出版物掲載記事の著者による電子的公開(セルフアーカイビング)について(お知らせ)

のふたつを大図研のウェブサイトに掲載することを報告した。

合わせて、このふたつにより、エンバーゴとセルフアーカイビングについて会員に告知す

るとともに、柔軟な運用を図れるようにすることも報告した。

審議結果は以下のとおりであった。よって、本議案は承認された。

- 承認する: 20
- 条件付きで承認する: 0
- 承認しない: 0

## 2.3. 会報編集小委員会（担当: 磯本）

### 2.3.1. 会報デジタル化後の執筆謝礼の変更

〔報告資料 5〕

会報のデジタル化に伴い、会報執筆謝礼の送付内容を変更することを報告した。

合わせて、冊子送付を取り止め、非会員向けには、会報執筆記事掲載号全体のPDFの送付、及び図書カードに代わり、オンラインで購入・送付が可能な媒体に変更することも報告した。

審議結果は以下のとおりであった。よって、本議案は承認された。

- 承認する: 20
- 条件付きで承認する: 0
- 承認しない: 0

以上